



四谷地域センター運営委員会コミュニティー誌 令和2年3月発行 No.113

【四谷地域センターのホームページ URL は <http://ycc.tokyo/>】



シリーズ「四谷の碑めぐり」

最終回

～水道碑（水道碑記）～

四谷区民センターの建物の脇に大きな石碑が立っています。江戸市街地が拡張され水不足が深刻化したおり、玉川兄弟が新しい水源・玉川上水を開設した功績を讃えた石碑です。

一八九五年（明治二十八年）に建立されたもので、石碑の表面には玉川上水の開削への讃辞と、上水の流路の説明が詳しく述べられ、裏面にはこの碑の建立に至る経緯が書かれています。

④ 新型コロナウイルスや

インフルエンザ

マスク、手洗い、うがい

必ず忘れずに！

文化の街 あれこれ ～内藤新宿と高松喜六～

いま世界的な繁華街として殷賑を極める「新宿」、その名は往時太宗寺近くにあった内藤宿という簡易な宿場が、新たに本格的な宿場として整備され「内藤新宿」と称されたことに由来します。なお「内藤」は当時この辺りの土地を拝領していた内藤大和守に因みます。

甲州街道は江戸時代に開かれた五街道の一つで江戸と甲斐の甲府の間を結んでいました。江戸の起点は日本橋でその第一の宿場は高井戸橋（現杉並区高井戸辺り）でした。

日本橋から高井戸宿までの距離が他の諸街道の第一宿場（品川・板橋・千住）までの距離の二倍（約四里＝16km）ほどあり旅人や荷馬車は不自由を感じていました。そこで浅草阿部川町の名主であった高松喜兵衛らが新たな宿場の設置を願い出て許可され内藤宿のあたりに本格的な宿場が

開かれました。宿場は太宗寺を中心として街道の両側に広がり、高松喜兵衛はのちに喜六と改名、高松家は代々この名主を勤めました。

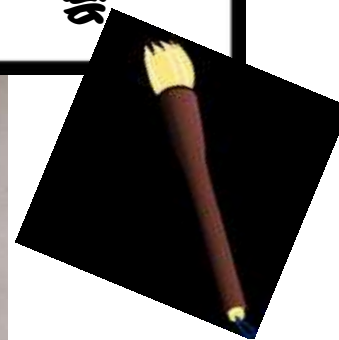
内藤新宿は一時、風紀の乱れを理由に廃止されましたが後に五代目高松喜六の請願が許可され再開、次第に賑わっていき江戸有数の盛り場になりました。若葉二丁目にある愛染院に内藤新宿の開祖初代高松喜六の墓があります。

※参考資料 安本直弘著「四谷散歩」



冬休み 子ども 書き初め練習会

毎年好評の子ども書き初め練習会。今年も「四谷地域センター協働事業」として地域の書道団体の協力のもと開催。子ども達は元気づけられ、時には真剣な顔をして作品を仕上げていました。作品は1階ロビーに展示しました。



やなせたかし先生 生誕百周年記念講演会

「アンパンマン誕生の秘密」を終えて



©やなせたかし

令和元年に四谷地域センターは創設22年になります。地域コミュニティの先導役を自負し、地域の皆様のお力添えを仰ぎながら活動を続けてまいりました。特に、やなせ先生には価値ある御支援をいただき、当センターの『地域の皆さんと共に』という思いにも賛同いただき、マスコットキャラクター「ハットくん」を作成していただきました。以来、いつも広報や行事の盛り立て役に活用させていただき、活動の支えとなっていました。先生には『全ての行動に、やさしさを』の思いを勉強させていただきました。先生が残してくださったメッセージを伝える為に「アンパンマン誕生の秘密」と題して梯久美子氏に御講演をお願い致しました。やなせ先生をよく知る梯氏のお話を聞き、より一層やなせ先生のお気持ちを知ることが出来、先生の残された大きな遺産を感じた気がします。

四谷地域センター

運営委員会

会長 高山 俊達



恥ずかしながらやなせ先生の代表作「アンパンマン」が有名になった頃には大学生になっており、作品をきちんと見たことがありませんでした。講演会では、先生の人柄を伝えるエピソードとして、仕事中に怒ったことがなかったことや一緒に仕事をした若い人たちのためにさまざまな支援を惜しまなかったというお話を伺いました。先生は幼い時に家族との別れを経験し、戦争中には軍隊での不合理で厳しい体験などもありました。そこから「正義とは何か」という問いかけをし、自分なりの答えを「アンパンマン」のキャラクターに込めていたことを知りました。また、先生はマスコット「ハットくん」を四谷地域センターに寄贈するなど地域との関係も大切にしてくださいました。これからも四谷地域センターの皆様と先生の想いを大切にしていききたいと思えます。

四谷特別出張所

中野 智規



©やなせたかし

四谷地域センター運営委員

日帰りバス研修

「伝統の街 真壁を散策して」



「寒い中、真壁に来てくれた人をもてなそう」この一言からはじまった「真壁のひな祭り」茨城県桜川市真壁町で平成15年2月に始まり18年間続いている地元のイベントです。

地元有志の人達が歴史的建造物、伝統など後世に伝えようと町並み保存団体を立ちあげ行政と一体となり進めてきた町づくりの地域です。民家などに展示されているさまざまな種類のお雛様や、明治中頃に料亭「勢州桜」として建てられ、平成12年国の登録文化財になった「伊勢屋旅館」等々、文化・伝統の街「四谷」

に住む私たちにとって多文化共生になりつつある「四谷」、その中でこれからの町づくりや伝統の継承など、考えさせられる一日となりました。



料理講習会

「チーズを使った簡単メニュー（雪印
メグミルク協力）に参加して」

エレベーターの中で、今回の料理講習会のポスターに記載されていた「フライパンでちぎりパン」を見て、思わず申し込みました。やはりこのポスターに惹かれて参加した方が多かったです。3班に分かれ、講師の方から乳製品の基本的な説明があり、料理のレクチャーを受けて期待しながらスタート。家では、パンはいつもイースト菌を発酵させながら長時間かけて作りますが、今回はベーキングパウダーを使用したチーズとベーコン入りのパンでした。スープとティラミスも同時に作り、出来たところで試食会。皆さん、満足する味に思わず「簡単で美味しい！」と声があがりました。

牛乳パックの開封口に様々な工夫をしているという話も伺い、楽しいひとときを過ごしました。

藤原 佐喜子



ダンス・アフタヌーン

令和元年12月、完成した新国立競技場を眼下に見おろす多目的ホールで、ダンスパーティーが華やかに開催されました。四谷地区では個人、法人含めてダンスサークルが活発に運営され、地域センター主催のダンスパーティーも二十年以上続けられてきました。今回は町会掲示板でのポスター掲示もさせていただいた事もあり、ダンスサークルの方々の参加も多くなりました。社交ダンスは若返りの健康法とも言われており、お医者様から勧められて始める方も多いと聞いています。確かにダンスをされている方は姿勢がよく、若々しく見えます。ステップを真剣に覚えようとすると頭も使い、又、音楽を聞くことにより五感が冴えてきますね。早速明日からスタートして、今年のダンスパーティーに参加してみませんか？



冬休み子ども映画会

「トイ・ストーリー4」

昨年に続き子ども向けの冬休み企画「冬休み子ども映画会」を実施しました。八校会よりリクエストをいただいた中から「トイ・ストーリー4」を上映。対象年齢が小学生ということもあり親子でご来場する方が多く、大好評でした。今後とも皆様に楽しんでいただける上映をしていきたいと思っておりますので、楽しみにお待ちください☆



コミュニティスポーツ 中央大会 結果報告

🎉 準優勝 ボッチャ
「チームホワイト・おうち」
おめでとうございます！

お知らせ

只今みづばちが冬眠中につき「みづばちプロジェクト」のお話はお休みさせていただきます。次号7月号に掲載予定です。お楽しみに☆

編集後記

年度末最後の広報誌が出来上がり、その時の「やっと終わった！」という気持ちは何とも表現出来ない感情であり、すぐ「次号は何を書こうかな・・・」と実にきりかえの早い心の持ちよう、試行錯誤と緊張感を繰り返しながら十数年この仕事に部員みんな関わってまいりました。次は一日も早く新しい感性をもつであろう若い次世代にバトンタッチが出来るよう努めていくのも広報部の有り方なのかなと思っています。

学校、諸団体、地域の皆様方には常に暖かい御支援、御教示を賜り感謝御礼申し上げます。

編集部員 一同

